



18歳成人年齢をふまえた小学校における消費者教育

2025年1月14日、板橋区教育会家庭科研究部の講師をCサポが担当させていただき、15名にご参加いただきました。

【目標】
小学生から行う消費者教育の重要性を理解する

今日の内容

- 1. オンラインを使った講座体験
- 2. 成年年齢引下げと消費者トラブル
- 3. 小学生向けの教材紹介

目標
小学生から行う消費者教育の重要性を理解する

Copyright©2024 Cサポ All Rights Reserved



- 小学生「契約のルールと見えないお金について考えよう」を小学生の気持ちで模擬体験しました。
- 後半は、クーリング・オフと学生から寄せられる消費者トラブルの事例をお話ししました。そこから、小学生に必要な消費者教育とは何かをグループで話し合いました。

ご依頼元より

「内容構成が充実していた。実際に教材を用いた授業を体験することで、売買契約の基礎についての理解を深め、授業展開を学ぶことができた。」とのご意見をいただきました。